

香芝市地域福祉計画・香芝市地域福祉活動計画策定委員会 要旨録

会議名	第3回香芝市地域福祉計画・香芝市地域福祉活動計画策定委員会
開催日時	令和7年12月24日(水) 13時30分～15時15分
開催場所	香芝市保健センター 3階 会議室
出席者	出席委員 11名 欠席委員 3名 事務局 7名
議事	1. 第四期香芝市地域福祉計画及び第四期香芝市地域福祉活動計画の各施策に係る取組案について 2. その他
公開・非公開の別	公開とする 傍聴者 なし
《議 事》 1.	《要旨》 第四期香芝市地域福祉計画及び第四期香芝市地域福祉活動計画の各施策に係る取組案について (事務局から説明)
意 見	担当課のところに、複数の課がある場合、どこがメインでされるのか分からず。市民の人がどこに尋ねたらいいか分からないと思う。
回 答	順番に関しては、何らかのルールに基づいて、順番を決めたいと思っている。主担当、副担当といった記載は難しいと思うが、何か工夫できるか検討したい。
意 見	今回初めての取組である再犯防止だが、実際に再犯防止といつても非常にいろいろな要因があるので、その関係団体の連携というのが大事になってくる。また、関係団体のどういった種別の団体が連携できるかということ也非常に重要な要素なので、可能であれば、もう少し踏み込んだ記載をしても良いのかなと感じた。
回 答	本市では、再犯防止の推進に関する取組を、本計画に期待する一方で、条例化も検討している。外部の関係団体との連携は必要だということでこういう記載をしているが、内部的にも理解の促進について今後やっていかないと認識している。一步踏み込んだ施策の

	展開については、また検討させていただきたい。
意 見	新規事業の社会参加支援事業であるが、これは、包括的支援体制整備に向けた重層的支援体制整備事業の一環でやられると思うが、社会参加支援をしていくという非常に大事な観点である。ただ、あればつなぐことができるが、困難を抱えた方が行きやすい場所とか、つながりやすい場所というのは、まだまだこれから生み出していかなければいけない要素が強いと思う。社会参加につないでいくことだけでなく、創出していく、生み出していくような要素をも書いてもいいのでは。
回 答	参加支援では、ボランティア団体や市民活動団体を社会資源という言葉で捉えており、ご意見いただいたように、社会資源を創出していくという観点も必要だと思う。また、社会資源の把握というところも、まだまだできていないので、今後も社会資源の把握と、創出していくとの記載も検討していきたい。
意 見	資料の表現の中でコミュニティソーシャルワーク事業の一部として実施することになったということが書かれているが、コミュニティソーシャルワーク事業という事業は表記されるのか。
回 答	前回の第三期計画では、第5章の重点取組でコミュニティソーシャルワーカーの取組の概要というのを整理している。第四期計画では計画の政策分野、取組分野、取組内容を一旦素案として固めた後に、重点取組を整理し、その中で、コミュニティソーシャルワーク事業についても、再度位置付け、説明を表記したいと考えている。
意 見	思春期・青年期で自分の命を絶つ人が増えているが、そういったことを視野に入れた項目はあるのか。心の健康づくり推進事業では、臨床心理士が相談支援をしてくれるが、自分から相談に行こうとしてもハードルが高く行けない人がたくさんいると思う。最近、チャットでの相談が増えてきているようだが、こういった試みについてはどうか。
回 答	心の健康づくりに関しては、健康衛生課の心の健康相談室がある。言い出しにくい、いろいろな背景があるかと思うので、健康衛生課だけでなく、各課で相談しても、各課連携した上で取り組むを考えている。今後はチャットでの対応ができるかも含めて考えていきたい。

意 見	<p>本日の資料のほかに、5年間でここまで進めるという具体的な計画はあるのか。先ほどの再犯防止について他の委員がおっしゃったように、もう少し細かく書いたり、また、裏付けになる資料を作ったりする考えはあるのか。</p>
回 答	<p>地域福祉計画は、この後に重点取組の設定を考えており、具体的な指標の設定、数値目標を立てた上で、毎年、P D C A サイクルにより進行管理をしていく。この計画は、福祉に関する計画の上位計画になるので、障害福祉や、高齢福祉、健康づくり、介護等、そういった分野別の個別計画は各担当課で策定している。ただ、可能な限り具体的な部分も見せながら、指標設定していく中で、進行管理をしていきたい。</p>
意 見	<p>活動計画に関連する表記のところで、計画を作つて終わりではなく、行政も社協も、そして地域住民も含めて、これからこういう方向性でみんなでやっていくと思っていただくのが非常に重要だと思う。ぜひ住民が身近に感じることのできる工夫や、目標だけではなく具体的に地域でされていることもあると思うので、少しイメージが湧くようなコーナーを、ぜひ設けていただきたいと思う。</p>
回 答	<p>今回の地域福祉活動計画では、施策や事業の整理に加えて、現場での実践が伝わる内容となる工夫を考えている。その一つとして、コミュニティソーシャルワーカーが、地域での支援活動を通じて見聞きした住民の主体的な取組や支え合いのエピソードを、コラムとして活動計画で掲載することを予定している。併せて、第三期の計画期間中に新たに展開された社会福祉協議会の取組事例や他機関の連携、また、新たな社会資源の創出につながった実践についても紹介し、計画と現場実践とのつながりがわかるような工程となるように整理していきたい。</p>
その他	<p>次回の会議日程及び内容について、事務局から説明。</p>